

# 令和元年度家畜人工授精師養成講習会開催要領

家畜改良増殖法（昭和25年法律第209号）第16条第2項の規定に基づき、令和元年度家畜人工授精師養成講習会を下記のとおり開催する。

## 1. 主催：沖縄県

## 2. 開催期日

1) 講習会：令和元年7月29日（月曜日）～令和元年8月26日（月曜日）

※尚、台風時には土曜日、日曜日を含め、別日程を設ける。

2) 修業試験：令和元年8月26日（月曜日）

※講習時間は原則として午前8時30分から午後5時30分までとし、土曜日、日曜日は休講とする。

## 3. 講習場所

1) 沖縄県立農業大学校：名護市大北1-15-9

2) 沖縄県畜産研究センター：今帰仁村諸志2009-5

## 4. 講習の目的

家畜改良増殖に係る家畜人工授精業務に関し、必要な知識を習得させる。

## 5. 講習の受講対象者

1) 沖縄県農業大学校校長が推薦する本科畜産課程肉用牛コース在学中の者で大学校卒業見込みの者及び短期養成科畜産課程肉用牛コースを卒業した者。

2) 県の畜産関係機関の長が特に必要と認める者。

## 6. 講習の対象家畜

牛

## 7. 講習科目及び講習時間

別紙のとおり

なお、講師の都合により一部変更もありうる。

## 8. 受講定員

23名以内とする。なお、受講申込者が定員を超える場合は書類審査及び関係機関との協議等により受講者を決定する。

## 9. 受講申請

### 1) 受講申し込み

受講希望者は、受講願書（別紙様式第1号）に推薦書（別紙様式第2号）及び履歴書（写真添付）（別紙様式第3号）、受講等免除申請書（別紙様式第4号）及び学科目取得証明書（別紙様式第5号）を添えて、住所地を管轄する家畜保健衛生所を經由して県農林水産部畜産課へ令和元年6月21日（金）までに必着するよう提出すること（期日厳守）。

尚、推薦者については、学生の申込者にあたっては学校長とし、その他の受講申込者にあたっては市町村長とする。

### 2) 受講申請の承認

提出された受講申請書を審査し、受講を適当と認める者については、受講承認通知を各家畜保健衛生所及び県立農業大学校校長あてに送付する。

## 10. 講習手数料

開講時に講習手数料32,400円を沖縄県収入証紙※により徴収する。

なお、納付後は講習手数料は還付しない。

※銀行窓口で取り扱い。

## 11. 講習及び修業試験の一部免除

### 1) 「大学等で当該科目の一部を終了した者」

家畜改良増殖法施行規則（昭和25年農林水産省令第96号）第24条の2第1項の規定により、大学等において同法施行規則23条第1項に掲げる科目のうち特定科目（別記1）を既に修めた者は、その科目についての受講及び修業試験の免除を受けることができる。講習会の受講及び修業試験の免除を受けようとするときは、受講申請書提出の際に、家畜人工授精講習会受講等免除申請書（別記様式第4号）及び学科科目取得証明書（同第5号）を提出すること。

2) 「他畜種についての講習会修業試験に合格した者」

同法施行規則第24条の2第2項の規定により、他の種類の家畜について講習会の修業試験に合格している者は、同法施行規則23条第1項に掲げる一般科目（別記2）の受講及び修業試験の免除を受けることができる。講習会の受講及び修業試験の免除を受けようとするときは受講申請書提出の際に、受講等免除申請書（別記様式第4号）及び当該修業試験合格書の写しを提出すること。

## 1 2 . その他

- 1) 筆記用具、印鑑、実習着（作業着、長靴）を持参すること。その他、持参を要する物については講師の指示による。
- 2) 遅刻及び途中退席は、欠席として扱う。時間厳守のこと。
- 3) 講義中は、電話の取次はしない。講習会テキストは「家畜人工授精講習会テキスト」（一般社団法人日本家畜人工授精師協会）を用いる。  
なお、同テキストの斡旋を希望する者は、講習会初日に斡旋するので受講申込書に明記すること。（テキスト代：8,100円）
- 4) 講習会における消耗品については、原則として受講生の負担とする。  
（消耗品代：5,000円程度）
- 5) 宿泊については、各自手配すること。

(別記1)

11の1)の関係

(特定科目)

- ・畜産概論
- ・家畜の栄養
- ・家畜の飼養管理
- ・家畜の育種
- ・生殖器解剖
- ・繁殖生理(神経・内分泌及び雌繁殖生理)
- ・精子生理(雄繁殖生理)
- ・種付けの理論(妊娠と分娩)
- ・家畜の審査
- ・発情鑑定

(別記2)

11の2)の関係

(一般科目)

- ・畜産概論
- ・家畜の栄養
- ・家畜の飼養管理
- ・家畜の育種
- ・関係法規

令和元年度 家畜人工授精師養成講習会日程

時間 月日	曜 日	午 前				12:00 13:00	午 後			
		8:30 9:00	9:00 10:00	10:00 11:00	11:00 12:00		13:00 14:00	14:00 15:00	15:00 16:15	16:15 17:30
7月29日	月			受付等	開講式	昼休み	関係法規			
30日	火		[実習] 家畜の審査			昼休み	[実習] 家畜の審査			
31日	水	[実習] 家畜人工授精				昼休み	[実習] 家畜人工授精			
8月1日	木		家畜の育種			昼休み	家畜の育種			
2日	金		精子生理 (雄繁殖生理)			昼休み	精子生理 (雄繁殖生理)			
5日	月	[実習] 家畜人工授精				昼休み	[実習] 家畜人工授精			
6日	火		繁殖生理 (神経・内分泌及び雌繁殖生理)			昼休み	繁殖生理 (神経・内分泌及び雌繁殖生理)			
7日	水	生殖器解剖				昼休み	[実習] 生殖器解剖			
8日	木		繁殖生理 (神経・内分泌及び雌繁殖生理)			昼休み	家畜人工授精		生殖器解剖	
9日	金	[実習] 家畜の飼養管理				昼休み	種付けの理論 (妊娠と分娩)			
13日	火	[実習] 家畜人工授精				昼休み	[実習] 家畜人工授精			
14日	水	家畜人工授精				昼休み	[実習] 家畜人工授精			
15日	木	家畜人工授精				昼休み	家畜人工授精			
16日	金	[実習] 家畜人工授精				昼休み	[実習] 家畜人工授精	家畜人工授精		
19日	月	[実習] 精液・精子検査法				昼休み	[実習] 精液・精子検査法			
20日	火		家畜の栄養			昼休み	畜産概論			
21日	水	[実習] 家畜人工授精				昼休み	[実習] 家畜人工授精			
22日	木		繁殖生理 (神経・内分泌及び雌繁殖生理)			昼休み	家畜の飼養管理			
23日	金		[実習] 発情鑑定			昼休み	[実習] 発情鑑定			
26日	月		[実習] 家畜人工授精			昼休み	閉講式	修業試験		

令和元年度 家畜人工授精師養成講習会科目及び講師

科 目	時 間	内 容	時間	講 師 所 属
1.学 科 (1)一般科目				
①畜産概論	4時間	1.我が国畜産の沿革及び特徴 2.家畜の主要品種の特徴 3.主要畜産物（乳、肉等）の生産に関与する要因 4.家畜飼養管理とアニマルウェルフェア		中央家畜保健衛生所
②家畜の栄養	3時間	1.家畜における消化及び吸収の仕組み 2.飼料の種類及び特性 3.飼料の配合及び給与		農業大学校
③家畜の飼養管理	3時間	1.家畜に対する環境の影響 2.畜舎等畜産施設の種類及び特性 3.一般飼養管理方法		農業大学校
④家畜の育種	7時間	1.家畜の遺伝の原理 2.家畜の選抜方法及びその特徴 3.家畜の交配方法及びその特徴 4.能力検定 5.家畜の登録制度		畜産研究センター
⑤関係法規	3時間	1.家畜改良増殖法 2.家畜伝染病予防法 3.獣医師法		畜産課
(2)専門科目				
①生殖器解剖	5時間	1.生殖器の形態及び機能 2.精子形成及び卵子形成		北部家畜保健衛生所
②繁殖生理 (神経・内分泌及び 雌繁殖生理)	13時間	1.繁殖機能に係るホルモン及び神経 2.性ホルモンの種類及び作用 3.繁殖の周期性及び性成熟 4.発情周期に伴う生殖器及び行動の変化 5.受精及び受精卵の発育 6.着床及び胎子の発育及び妊娠による母体の変化 7.分娩の経過及び分娩後の繁殖機能の回復 8.繁殖障害の概念及び原因		農業大学校
③精子生理 (雄繁殖生理)	7時間	1.造精機能と射精の機序 2.精液量及び精子数並びに精液の理化学的性状 3.精子の形態及び構造 4.精子の機能 5.精液性状及び精子機能に関与する要因		畜産研究センター

④種付けの理論 (妊娠と分娩)	4時間	1. 雌生殖器内における精子及び卵子の移動及びその機能の変化 2. 授精(交配)適期		農業大学校
⑤人工授精	17時間	1. 人工授精技術の発展の歴史 2. 人工授精の意義及び得失 3. 精液の採取 4. 精液及び精子の検査 5. 保存液の特性及び精液の希釈 6. 精液の液状保存及び凍結保存 7. 精液の注入 8. 人工授精用器具等の種類及び特性 9. 消毒の原理及び方法 10. 人工授精関連の繁殖先端技術		農業大学校 畜産研究センター
2. 実 習				
(1)家畜の飼養管理	4時間	1. 家畜の取り扱い及び家畜の手入れ 2. 畜舎等畜産施設の管理及び取り扱い 3. 飼料給与		農業大学校
(2)家畜の審査	7時間	1. 家畜の体尺測定 2. 体型審査		家畜改良協会
(3)生殖器解剖	4時間	1. 生殖器の解剖		北部家畜保健衛生所
(4)発情鑑定	6時間	1. 発情の発見及び鑑定		畜産研究センター
(5)精液精子検査法	8時間	1. 精液及び精子の検査法		畜産研究センター
(6)人工授精	45時間	1. 精液の採取法 2. 保存液の調整及び精液の希釈法 3. 精液の液状保存法及び凍結保存法 4. 精液の注入法 5. 人工授精用器具等の取り扱い 6. 消毒の方法 7. 人工授精関係帳簿及び証明書の記載方法		農業大学校 畜産研究センター